

インターンシップ。野馬土で職場体験!

野馬土の新聞

(Web版)

2018年9月号

特定非営利活動法人
野馬土

相馬市石上字南白鬮320
TEL.26-8437
FAX.26-8203

オーガニック コットンの 収穫体験



浦上財団の皆さま 来訪

9月24日(月)に明治大学の先生、学生(7名)と風力発電と繊維産業で復興をコーディネートしようとしている(同)サスケナジーの方々が高区井田川を訪れコットンの収穫体験を行いました。学生の半数と先生、(同)サスケナジーの方々は5月に行った種まきイベントにも参加しており、収穫量はまだまだ少なかったものの、自分がまいた種の成長ぶりに感激しながらの収穫作業となりました。10月28日(日)にはコットンの収穫体験・交流会を開催します。皆さんのご参加をお待ちしています。



昨年より野馬土の事業をご支援いただいている 公益財団法人 浦上食品・食文化振興財団」の選考委員と事務局の皆さまが9月3日(月)に訪問、野馬土の現状を視察されました。昨年度のカフェの拡充計画の成果報告を兼ねて、自慢のお米と新鮮野菜たっぷりの特製ランチをご用意。ヒアリングでは福島野馬土の現状と実態に熱心に耳を傾け、の意義と未来の農と食のために賭ける想いに改めてご賛同いただきました。検査機器や直売所もご覧になり、翌9月4日(火)は20km圏内ツアーに。毎年採択団体を訪問されているとのことですが、他県と全く違う現状に触れていたことが出ました。



15日には、飯館村視察に同行しました。何度か福島第一原発20kmツアーは参加しているものの、飯館村視察は初! 現役の大学の先生やOBの方が多く参加されていて、現役大学生の今田君は自然に周りに溶け込むことができたようです。放射線量の数値が、見た事もない数値へと代わると、一気に緊張感が増した様子でした。たった数日でしたが、“働く事”“社会へ出る事”にあたって、たくさんの事を学んだ数日間だったと思います。



今田さんからの感想

※一部抜粋

就業体験の中で、実際に働いてみて感じたのは、地味な仕事が多いということです。作物を一つひとつハサミで収穫したり、雑草を抜いたり、大量のジャガイモの土を手で落としたり、1g単位で米の量を測って袋詰めしたり。しかし地味ではありませんが大切な仕事です。(中略)当たり前のことではあるのですが、改めてそう気付かされました。』



(上)野馬土にて、野菜の放射能測定の様子。貴重な体験となったようです。



(左)果樹園の土壌測定、トラブル発生前の状況

12日は、土壌の放射線量を計測に果樹園を訪問...のはずが、思わぬ機械トラブル発生にて、現場には行ったものの実際には計測できず...:(泣)見た事もない機械に興味津々の今田さんでしたが、計測の実践には至りませんでした。残念!

心の復興事業 秋色リース教室

9月15日(土)、カフェ野馬土にて秋色リースづくり教室を開催しました。秋向けリースとハロウィン向けのリース、お好きな方を選んで作業開始! あまりの集中力に終了予定時刻を大幅に超えてしまいました。参加者の皆さまは大満足♡遅めのランチも楽しんでいただきました。

